

耳鼻咽喉科・頭頸部外科が対応する疾患の中で、頭頸部がんは重要な疾患の一つです。日本においては全癌の4%程度の希少癌であるため、「頭頸部がん」になじみがないのが現状です。

そこで今回、日本耳鼻咽喉科学会は「頭頸部外科月間」を制定し、啓蒙活動に取り組むことにいたしました。

世界的にも、7月27日を「世界頭頸部がんの日」と定め、国際頭頸部癌学会連合(IFHNOS)を中心に、頭頸部がんの予防と早期発見を目指して、正しい知識を世界規模で普及させることを目的とした活動が行われています。



頭頸部がんとは？

ずがいてい じょうじゅうかく
頭蓋底(頭蓋骨の底)から上縦郭(胸いたの内側、気管の周囲)までの部位に生じる癌の総称です。つまり、頭頸部がんには多種多様な癌が存在する訳です。主なものに口腔癌、鼻副鼻腔癌、上咽頭癌、中咽頭癌、下咽頭癌、喉頭癌、大唾液腺癌があります。それぞれはかなり違った特徴を持っているので、部位別に考える必要があります。

癌の種類としては扁平上皮癌が大部分を占めています。扁平上皮癌以外の癌には多くの種類があります。癌以外の悪性腫瘍(肉腫や悪性リンパ腫、悪性黒色腫など)もあります。

飲酒や喫煙、口の衛生状態(むし歯や歯周病、不適切な義歯)が危険因子になります。これらの因子のために女性より男性に多く、年齢的には50歳代から増え、70歳代が最も多く発生します。

原発巣の違いや進行度により、治療方法や治る確率に違いがあります。しかし、治療方法の選択は画一的なものではなく、治療後のQOL(生活の質)も勘案して決定することになります。担当医との相談が重要な疾患です。

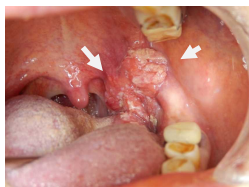
こんな症状に注意！



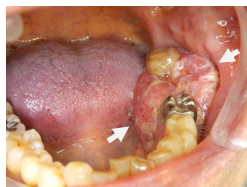
- * 舌の側面に“しこり”がある
- * 口内炎が治らない
- * のどの痛みが続く
- * 声がかすれる
- * 首にしこりがある
- * 食べ物がのどにつかえる、しみる



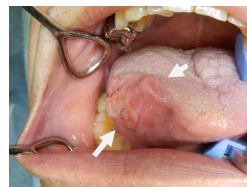
2 か月前から、右側頸の腫瘍を自覚していた。
中咽頭癌の頸部転移であった。



1 か月前から、左側扁桃腺の周囲に痛みを感じていた。
中咽頭癌であった。



6 か月前から、“口内炎”が治らないと考えていた。
口腔(下歯肉)癌であった。



3 か月前から、舌の右側面にしこりがあることに気づいていた。
口腔(舌)癌であった。

症状が2週間以上続いたら、頭頸科 or 耳鼻咽喉科を受診してください。
口やのどの異常について、内科で相談される機会もありますが、
長引く場合は耳鼻咽喉科で詳しい診察を受けましょう。

頭頸部がんの診療

* 問診を軽視しません。

どんな症状がいつからあるのか、悪化しているのか？重要です。受診前に経験した疾患についても尋ねられます。服用中の薬の内容も重要です。お薬手帳を持参しましょう。喫煙歴、飲酒歴も大切です。

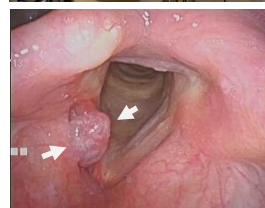
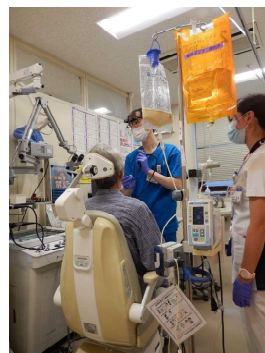
* 頭頸部がんの診療は、“見る”、“触る”ことから始まります。

見て、触るだけでかなり診断に近づきます。内視鏡での観察が重要な時もあります。頸部の触診も重要です。

* 疑う部位があれば、細胞を採取して病理診断を確定します。

* がんの進行度も調べます。

早期癌なのか、進行癌なのかの判断です。病期(ステージ)診断とも言います。CT検査、MRI検査、超音波検査に加え、PET-CT検査を行うことがあります。



3か月前から声がれを自覚。内視鏡検査で喉頭癌を確認できた。

治療方法の選択とは？

根治性とQOLのバランス

癌の存在する部位、進行度により、治療法を決定します。根治性が最も高いと考えられる治療は、ガイドラインに示されています。

多くの場合、手術か(化学)放射線療法を選択することになります。

ガイドラインには書かれていませんが、治療によって失われるQOLを考えることも重要です。癌の根治性と治療後のQOLのバランスを考えて治療方針を決める必要があります。担当医からの十分な説明を聞いて、家族とも相談した上で決定(選択)することが勧められます。



当センターでの頭頸部がん治療

栃木県立がんセンターでも、頭頸科を中心に頭頸部がんの治療を行っています。病理診断、病期診断を確定した後に、十分な説明を行います。内容を理解し、納得した上で決定します。ご自身の意志が重要です。治療についての疑問やリクエストがある場合には、いつでも相談できる雰囲気づくりに配慮しています。

- * 手術を行う場合には、口腔外科や形成外科と協議し、術式の詳細を決定します。
- * (化学)放射線療法を選択する場合には、放射線治療科や腫瘍内科と相談して治療戦略を決定します。

おわりに

頭頸部がんによって、話すことや食べること、飲むことの喜びを奪われた多くの患者さんがおられます。

- * お酒やたばこがリスクファクターなので、控えることは予防になります。
- * 早期発見によって
人生の喜びを失わずにすむことができます。
早期受診を心がけましょう。

我々は、頭頸部癌に対する知識を広め、皆さんの健康と福祉の向上に役立ちたいと考えています。

